

GPP でんきに切り替えました

インタビュー

- ① 東北電力や今までの電力会社から、GPP に変えたのはなぜですか？
- ② 今のお気持ちを自由にお聞かせください。

原発の電気は使いたくない、と思っていたからです。そして、向後さんが新電力の代理店を開かれ、すすめてくださったからです。

なんの手間もなく、きりかわり、電気料金はまったくかわりありません。すがすがしい気持ちです。

(新潟市)

さま



GPP の代表は、昔一緒に反原発運動をしていた人で、原発をなくすためにはこれしかない、再生可能エネルギーに目を向けた！

新潟でも契約できることになり、嬉しいです。

さま
(長岡市土合)



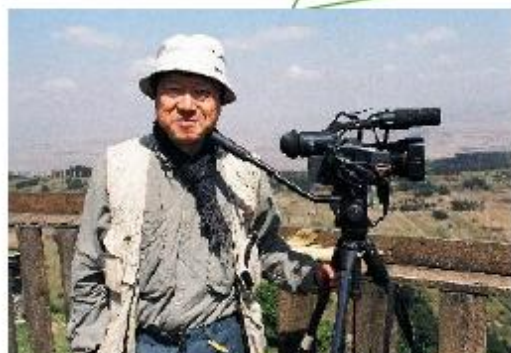
『GPP でんき』に切り替えた理由は、原発反対の意思表示の第一歩だと考えたからです。持続可能な社会にしたいです。

みさま
(長岡市)



「ながおか自然エネルギー」の方の説明の中で、地域の皆さんが自然エネルギーを生産・消費するようになれば、「お金が地元で循環するエネルギー構造」になるという点に希望を持ちました。

さま
(長岡市・ドキュメンタリー映画監督)



東日本大震災の避難者がまだ2万7千人も残っており、福島原発事故の廃炉作業の見通しが立たないというのに、政府は原発最大限活用に舵を切りました。

政府も東電も原発事故の惨状を忘れたのでしょうか。
女川原子力発電所を再稼働した東北電力ばかりです。

原発稼働に突き進む電力会社の電気は使いたくないし協力したくない。GPP のような自然エネルギーを使う人がもっと増えたら良い。

さま (長岡市)





柏崎刈羽原発再稼働問題で一緒にいた故橋本桂子さんと話しているなかで、「できることからやりましょう！」というこ

とで、2019年に「東北電力」から「新潟県民電力」(当時)に切り替えました。その後、「Ci電かる」「Loopでんき」など送電会社の都合で転々とせざるを得ませんでした。

ちょうど「ながおか自然エネルギー」が立ち上がり、原発由来でない自然環境再生エネルギーによる電力供給(GPP)にたどり着きました。

昨今の電力高騰は生半可な状況ではありませんし、まして原子力発電エネルギーという将来性もなく安全安心も担保できない状況に終止符を打つことができたと感謝しています。

さま(長岡市)

東北電力など大手独占会社の電力は、最も危険なウラン燃料や温暖化の元となる化石燃料使用の電力ですので、自分が使うこととの矛盾をすごく感ずる毎日で、とてもいやな暮らしであったからです。グリーンなGPPに変えて、今は毎日がとても幸せな気持ちで一杯です。手間も金もあまり使わず、幸せを掴むなんて思ってもみませんでしたから、うれしさこの上なしです。

以前は面倒臭いとか、弱小なGPP社では大丈夫かとか、停電時はどうなるかとか、色々ありで延ばして来ましたが、これらは全く心配がない事が判り、換える決断をしました。



手続きは、向後さんにお任せしたら実に簡単でした。

さま(長岡市宮内)

今年の年頭にGPP竹村代表はHPに「既存再エネの電気をできるだけ供給するが、完全は期さない。」と書かれていました。

エネルギー供給会社らしくらぬ宣言ですが、ここ大切だと思っています。既存再エネ設備を最大活用しつつ、「地産地消のしくみ」や「蓄電」の工夫を進めていく。

加えて、GPPを支える人たちが持続可能に働ける運営を目指す。そんな姿勢を持った会社がGPP。GPPの電気を使いたいと思いました。

Aさま(長岡市越路地区)

GPP電気に切り替えて2年、なにひとつ困ることはありませんでした。

切り替えるだけで、電気を原発にも化石燃料にも頼らなくて済むようになるのが1番のメリットです。

(長岡市宮内)



原発由来でない再生可能エネルギー由来の電気を使いたかったから。

ずっと以前からそう思っていたけど自宅でないとかだめとか事業所併用だとかいろいろ条件が合わず叶わなかった。

GPPはそういう制約がなく叶った。

T.Yさま(長岡市)



お問い合わせ：GPP 代理店一般社団法人「ながおか自然エネルギー」
向後(こうご) ☎ 090-1469-8855 ✉ gpp.nagaoka@gmail.com